

口 差 点

こうさてん

夏はやっぱりアイスクリームを食べることが至極の楽しみです。特に畑仕事などして汗だくになって家へ帰ったとき、ちょっとした棒アイスでも頬張ると汗がスーッと引いて、ほっとするひとときです。

7月28日付本紙「ふるさと企業この一手」の欄にアメリカ流のアイスクリーム店のことが掲載されました。地元の食材を駆使し

て信州ならではの味を出しているようです。

アイスといえば40年以上前、夏の一時期アメリカに滞在してお世話になった家族のことを思い出します。ちようど夏休み中で、夕食はテラスでのんびりと2時間ほどかけて食べたり飲んだりしました。食後はホストマザーがオーブンで作った甘いケーキ類が出ました。

これで終わりかと思ったら、最後に口直しとばかりにアイスクリームが出され、その量にびっくりしました。バケツほどの大きな入れ物から、移植ごてのようなものでザックザックとお皿に盛り付け、その上をやわらかいチョコレートを下ドロドロとかけてくれるではありませんか。1日目は何とか食べ切ったけれど、私には無理で、次の

夏はアイスクリーム

日から「もう少し減らして」とお願いしました。

それ以来、私はすっかりアイスクリームにはまりました。帰国後、スーパーマーケットに買い出しに行った折、大きな箱入りの物を買ってきては、家族みんなでパクパク食べました。今はそういうことはなくなりましたが、あの頃のアイスクリームの思い出が懐かしいです。

(安曇野市穂高、荻原義重、79歳)